

理 科

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	理科 307 407 507 607	A 4 752	令和5年 (24冊)
4	大日本図書	大日本 ◆	理科 308 408 508 608	A 4 864	
11	学校図書	学 図 ◆	理科 309 409 509 609	A B 828	
17	教育出版	教 出 ◆	理科 310 410 510 610	A 4 変型 860	
26	信州教育出版	信 教 ◆	理科 311 411 511 611	A B 700	
61	新興出版社 啓林館	啓林館 ◆	理科 312 412 512 612	A B 804	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

発行者の番号 略 称		学年	2 東書	4 大日本	11 学図
内 容	a 自ら課題を設定する力の育成につ ながる問題(課題)の扱い	第三学年	「春の生き物」の単元では、「春の生き物をさがしてみよう。」、「じしゃくのせいしつ」の単元では、「いろいろな物に、じしゃくを近づけてみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「しぜんのかんさつ」の単元では、「校庭で植物や動物などの生きものをさがして、そのすがたをよく見てみましょう。」、「じしゃくのふしぎ」の単元では、「じしゃくを身の回りのものに近づけてみましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「しぜんのかんさつ」の単元では、「どのようなところに、どのような生き物が見られるでしょうか。」、「じしゃくのひみつ」の単元では、「身の回りのものに、磁石を近づけて調べてみましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第四学年	「雨水のゆくえと地面のようす」の単元では、「雨の日の校庭を、じっくり見てみよう。」、「とじこめた空気と水」の単元では、「空気をとじこめて、おしてみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「雨水のゆくえ」の単元では、「校庭など、雨がふった場所のようすを見てみましょう。」、「とじこめた空気や水」の単元では、「空気をふくろにとじこめ、おしてみ、気づいたことを話し合しましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「雨水の流れ」の単元では、「雨などの水の流れるようすや地面へのしみこみ方などについて、これまでにけい験したことや学んだことをもとに予想し、調べていきます。」、「空気と水」の単元では、「空気や水をおすと、それらの体積や手ごたえはどうなるでしょうか。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第五学年	「流れる水のはたらき」の単元では、「同じ川の2まいの写真を見てみよう。」、「物のとけ方」の単元では、「食塩を水につけて、じっくり見てみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「流れる水のはたらきと土地の変化」の単元では、「ふだんの川はおだやかに流れていますが、大雨がふった後、川の流れやその周りの土地のようすが変化します。写真を見て気づいたことを話し合い、問題を見つけましょう。」、「もののとけ方」の単元では、「食塩を水にとかして、気づいたことを話し合しましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「流れる水のはたらき」の単元では、「川や川岸のようすは、場所によってちがいがあります。川や川岸のようすは、どのようなちがいがあるのでしょうか。」、「もののとけ方」の単元では、「食塩を水に入れると、やがてとけて見えなくなります。食塩はなくなってしまったのでしょうか。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第六学年	「物の燃え方と空気」の単元では、「物を燃やしてみよう。」、「大地のつくり」の単元では、「地面の下は、どうなっているのかな。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「ものの燃え方」の単元では、「ものを燃やした経験や、写真のろうそくが燃えるようすについて気づいたことを話し合しましょう。」、「土地のつくりと変化」の単元では、「がけのようすについて気づいたことを話し合い、問題を見つけましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「ものの燃え方と空気」の単元では、「キャンプで、まきを燃やして料理を作ったり、キャンプファイアをしたりすることがあります。ものを燃やし続けるには、どのようにすればよいでしょうか。」、「大地のつくりと変化」の単元では、「私たちがふだん見る機会の少ない地面の下のようすを、いろいろな手がかりをもとに調べ、大地のでき方について考えていきましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第三学年から 第六学年まで	6年「変わり続ける大地」の単元では、コラム「ジオパークへ行こう!」で「ユネスコ世界ジオパーク」を紹介しており、知夫赤壁(隠岐ジオパーク)、龍石海岸(島原半島ジオパーク)、旭滝(伊豆半島ジオパーク)など、文と写真を掲載している。	3~6年の裏表紙では、「ジオパーク」を紹介しており、小天桥(京都府)、芦ノ湖(神奈川県)、姫島(大分県)、原尻の滝(大分県)などの写真を掲載している。	6年「火山の噴火と地震」の単元では、コラム「ジオパークに行ってみよう」で「日本ジオパーク」、「ユネスコ世界ジオパーク」を紹介しており、海底の火山からふん出したよう岩からなる地形(青森県八戸市)、火山灰が固まってきた岩石からなる地形(青森県佐井村)などについての文と写真を掲載している。
c 環境保全に関わる内容の扱い	第三学年から 第六学年まで	3年「こん虫のかんさつ」の単元では、「トンボやバッタなどを持つときは、からだやはねを、そっとかむようにしましょう。また、かんさつしたら、もとの場所に放しましょう。」、6年「水溶液の性質とはたらき」の単元では、「実験に使った水溶液は、流し場にすてずに、決められた入れ物に集める。」など、環境保全につながる記載がある。	3年「こん虫の育ち方」の単元では、「生きものをかんさつするときは、きずつけないようにいねいにあつかう。」、6年「水よう液の性質」の単元では、「薬品は、先生の指示に従って、決められたところに集める。」など、環境保全につながる記載がある。	3年「こん虫を調べよう」の単元では、「石などを動かしたら、もとにもどしておきましょう。」、「こん虫を野外に放すときには、とってきた場所がいいに放しません。」、6年「水溶液の性質」の単元では、「残った薬品は、決められたところへ集めます。」など、環境保全につながる記載がある。	

発行者の番号 略 称		学年	17 教出	26 信教	61 啓林館
内 容	a 自ら課題を設定する力の育成につ ながる問題(課題)の扱い	第三 学年	「生き物を調べよう」の単元では、「じっさいにタンポポなどの植物をくわしく見て、どのようなすがたをしているかをたしかめましょう。」「じしゃく」の単元では、「じしゃくを鉄のクリップや竹のものをさしに近づけましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「身近なしぜんのかんさつ」の単元では、「学校のまわりをたんけんして、どんな植物や動物が見られるか、さがしてみよう。」「じしゃくのせいしつ」の単元では、「いろいろなものにじしゃくを近づけてみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「生き物をさがそう」の単元では、「校庭や野原に出かけて、生き物をさがしてみよう。」「じしゃくのふしぎ」の単元では、「いろいろなものに、じしゃくを近づけてみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第四 学年	「雨水と地面」の単元では、「運動場の土とすな場のすなに水を注いで、ちがいをくらべましょう。」「とじこめた空気や水」の単元では、「空気でっぽうに空気や水をとじこめて、玉を飛ばしましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「雨水のゆくえ」の単元では、「雨の日に、校庭やすな場、学校のまわりなどでふった雨水の様子を観察しよう。」「とじこめた空気と水のせいしつ」の単元では、「とじこめた空気や水をおしてみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「地面を流れる水のゆくえ」の単元では、「雨がふると、地面に川のような水の流れや水たまりができるのはどうしてかな。」「とじこめた空気や水」の単元では、「空気でっぽうの玉を飛ばして、気づいたことを話し合ってみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第五 学年	「流れる水と土地」の単元では、「川の上流と下流の様子を写真などで比べましょう。」「もののとけ方」の単元では、「食塩やミョウバンを水にとかしてみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「流れる水のはたらき」の単元では、「雨がたくさんふると、雨水が地面を流れたり、川の水かさが増えて、にごった水がはげしく流れたりします。地面を流れる水や川の水などには、どのようなはたらきがあるのでしょうか。」「もののとけ方」の単元では、「食塩とミョウバンをそれぞれ水に入れて、とけていく様子を見てみよう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「流れる水のはたらき」の単元では、「雨が強くなると、流れる水がにごってきました。なぜ、水がにごって見えるのでしょうか。」「もののとけ方」の単元では、「食塩のつぶを水に入れると、どうなりましたか。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
		第六 学年	「ものの燃え方と空気」の単元では、「底のある集気びんの中の空気がなくなってしまうかを確認しましょう。」「土地のつくり」の単元では、「写真を見て、土地に地層が見られるのはどうしてかを考えましょう。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「ものの燃え方と空気」の単元では、「2つのびんに火のついたろうそくを入れ、一方のびんにはふたをして、燃え方を比べてみよう。」「大地のつくりと変化」の単元では、「わたしたちは、土地の上に建物を建てたり田畑をつくったりして生活しています。大地は、どんなつくりになっているのでしょうか。また、どのようにして、できてきたのでしょうか。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。	「ものが燃えるしくみ」の単元では、「キャンドルランタンには、ろうそくが燃え続けるためのどんなくふうがあるのだろうか。」「大地のつくりと変化」の単元では、「大地の中のようすを見ることができるところでは、しま模様に見えるところがあります。わたしたちが生活している地面の下を調べると、どんなことがわかるのでしょうか。」など、問題(課題)の設定につながる記載がある。
内 容	b 日本の自然の扱い	第三 学年 から 第六 学年 まで	6年「人の生活と自然環境」の単元では、世界自然遺産を紹介しており、知床(北海道羅臼町)、白神山地(秋田県藤里町)、小笠原(東京都小笠原村)などについて文と写真を掲載している。	6年「大地のつくりと変化」の単元では、土地のようすの説明で、しま模様が横に長く続く地層(千葉県銚子市)、火山灰などによってできた地層(長野県諏訪群原村)などについて文と写真を掲載している。	6年「大地のつくりと変化」の単元では、「日本ジオパーク」、「ユネスコ世界ジオパーク」を紹介しており、山がくずれ落ちてできた九十九島(島原半島)、雨水や地下水がくり出した洞窟(Mine 秋吉台)などについて文と写真を掲載している。
		第三 学年 から 第六 学年 まで	3年「こん虫の世界」の単元では、「バッタやトンボを持つ場合は、むねかいはねの部分をやさしくつかむようにする。」、6年「水溶液」の単元では、「使い終わった水溶液を決められた容器に分けて集める。」など、環境保全につながる記載がある。	3年「こん虫のからだを調べよう」の単元では、「かんさつが終わったら野外へはなす。」、6年「水よう液の性質」の単元では、「調べ終わった水よう液は、先生の指示に従って片づける。」など、環境保全につながる記載がある。	3年「こん虫のかんさつ」の単元では、「つかまえたこん虫は、もとの場所に返す。」、6年「水よう液の性質」の単元では、「薬品を決められた容器に集めるなど、先生の指示に従う。」「実験後の水よう液は水道に流さずに、先生の指示に従う。」など、環境保全につながる記載がある。

「採択資料2」【小学校調査研究(内容の総括表)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 理科

項目 発行者	a 内容区分の量(ページ数)						b 観察・実験を取り上げている箇所			c ものづくりの種類数			d デジタルコンテンツが用意されている箇所			e 発展的な内容を取り上げている箇所		
	内容A 「物質・エネルギー」			内容B 「生命・地球」			内容A 「物質・エネルギー」	内容B 「生命・地球」	計	内容A 「物質・エネルギー」	内容B 「生命・地球」	計	内容A 「物質・エネルギー」	内容B 「生命・地球」	計	内容A 「物質・エネルギー」	内容B 「生命・地球」	計
	エネルギー	粒子	計	生命	地球	計												
東書	140	122	262	230	154	384	50	54	104	17	0	17	184	291	475	6	9	15
大日本	175	138	313	285	160	445	40	59	99	24	1	25	240	269	509	21	31	52
学図	166	126	292	237	183	420	57	64	121	15	0	15	195	262	457	16	16	32
教出	162	140	302	278	178	456	55	58	113	15	0	15	21	131	152	13	11	24
信教	157	114	271	227	143	370	93	94	187	25	0	25	63	170	233	15	19	34
啓林館	154	127	281	263	154	417	53	55	108	12	1	13	114	212	326	13	18	31
平均値	159.0	127.8	286.8	253.3	162.0	415.3	58.0	64.0	122.0	18.0	0.3	18.3	136.2	222.5	358.7	14.0	17.3	31.3

【調査結果】表中の平均値は、小数点第2位を四捨五入したものである。

- a 該当する内容の単元のページ数を数えたものである。
- b 「観察・実験」の活動を数えたものである。
- c 「観察や実験等の道具づくり」と「学習成果を生かしたものづくり」とを合わせて種類を数えたものである。
- d 「デジタルコンテンツ」が用意されている箇所を数えたものである。
- e 学習指導要領に示していない内容であることを明記されたものを数えたものである。

「採択資料3」【小学校調査研究(内容から抜粋)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 理科

発行者	東書	大日本	学図	教出	信教	啓林館
防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
持続可能な社会づくりについての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	なし	あり
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし	なし	なし	なし	なし

「採択資料4-1」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 理科

項目 発行者	ア 冊子、単元の構成	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	エ プログラミング教育の扱い	オ その他
東書	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入時に、既習事項や生活経験を想起させる記述がある。 単元末の「ふりかえろう」では、学習内容が文や図で簡潔に示されている。 巻末に、ノートの書き方や発表・話し合いの仕方、コンピュータの使い方などが示されている。 「たしかめよう」に、学習内容を振り返る問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしている。 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 文章が文節や単語の途中で改行されることがないよう、改行位置を工夫している。 読みに困難がある児童のために、単元導入のページと「まとめ」では、すべての漢字に振り仮名を付けている。 児童の負担に配慮し、軽量な紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、理科の学び方として「問題をつかもう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果」「考察しよう」「まとめ」という問題解決の過程が示されている。 巻頭や単元の中で、働かせる理科の見方・考え方を示している。 各過程で話し合いのポイントを示している。 学んだことを生かして、自分なりに考える「広げよう！理科の発想」を掲載している。 学んだことを深めるために「理科の世界探検部」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻末の「理科とプログラミング」で、身の回りでプログラミングが活用されている事例を紹介している。また、プログラミングを体験できるウェブサイトを用意している。 第6学年「電気と私たちの暮らし」の単元で、プログラミングの活動を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 器具の使い方を巻末にまとめて掲載している。 知識、問題解決の力、「理科の見方・考え方」について1年間で学習したこと振り返る「1年間をふりかえろう」を掲載している。 本文中に、下位学年の内容や、他教科の内容を想起させる「思い出そう」が示されている。 「保護者の皆様へ」では、保護者と一緒に学びを深めるように促している。 先生、保護者に向け、災害の写真を扱う際の指導上の配慮について記載している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入時に、既習事項や生活経験を想起させる記述がある。 単元末の「確かめよう」「学んだことを生かそう」で学んだ内容や科学用語などを再確認したり、学習内容を科学用語を用いて説明したりする内容が掲載されている。 巻末の「理科の学びに役立てよう」で、ノートの書き方やタブレットの活用などについて示されている。 コラム「学んだことを生かそう」「ふり返ろう」「理科のたまご」「サイエンスワールド」では、学んだことを深められる資料や生活との関連、学んだことと関連する職業、既習事項を基に別の課題に取り組める資料などが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 文章が文節や単語の途中で改行することがないよう、改行の位置を工夫している。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 当該学年で学習する漢字には全て振り仮名を付けている。 ウェブコンテンツへの二次元コードの位置を固定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の中で「問題を見つける」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「結論」という問題解決の過程を示している。 「問題を見つける」と「考察」で理科の見方・考え方を働かせる内容をキャラクターのセリフで記載している。 学習の流れの中で、児童の話し合う場面をイラストとともに掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3、4、5学年でプログラミング的思考を意識した内容をコラムで掲載している。 第6学年「私たちの生活と電気」の単元で、プログラミングの活動を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末で、他教科との関連、既習事項との関連、理科のノートの書き方、タブレットPCの使い方、実験を行う際の安全管理、実験・観察器具の正しい扱い方、当該学年での学びのまとめなどの資料が掲載されている。 他教科との関連を示す記載がある。 自由研究のページが見開きであり、「テーマ設定」、「計画」、「準備」、「観察・実験・工作」、「まとめ」と手順が示されている。
学図	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入に既習事項を振り返る記述がある。 単元末「ふりかえろう」で、できるようになったことを確認したり、学んだ内容を活用して説明したりする内容が掲載されている。 巻末で観察の注意点や方法、ノートの記録の仕方など、学習に関する資料が掲載されている。 コラム「資料」「やってみよう」では、学んだことを深められる資料や生活との関連、既習事項を基に別の課題に取り組める資料が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしている。また、具体的な色名を示している。 読みやすく、理解しやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 文章が文節や単語の途中で改行されることがないよう、改行位置を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科の学習の流れが、「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」という過程を示している。 巻頭や単元の導入にその単元で働かせる理科の見方・考え方を示している。 問題を見つける場面や考えを整理する場面などで、話し合いの場を設定している。 単元の冒頭で身に付けたい力を示し、単位時間や単元末で振り返る場面が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年「電気と私たちの生活」の単元では、専用のプログラミングソフトを用意しており、二次元コードからアクセスすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に考え方や調べ方、結果のまとめ方や実験器具の取り扱い方法を記載している。 自由研究のページがあり、理科の本や科学館や博物館の紹介を記載している。 科学者からのアドバイスを記載している。 他教科との関連を示す記載をしている。 記録や発表などの方法を複数示している。 先生、保護者に向け、災害の写真を扱う際の指導上の配慮について記載している。

「採択資料4-2」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 理科

項目 発行者	ア 冊子、単元の構成	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	エ プログラミング教育の扱い	オ その他
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に前学年の学習を振り返る記載がある。 ・学習の進め方を確認し、それに合わせたノートのとり方を示している。 ・系統的な学習のつながりとして、既習事項を振り返る記述とデジタルコンテンツを単元ごとに掲載している。 ・単元末に「ふり返ろう」と「確かめよう」があり、学んだ内容や科学用語などを再確認したり、学習内容を科学用語を用いて説明したりする内容を掲載している。 ・コラム「資料」「チャレンジ」「科学のまど」では、学んだことを深められる資料や生活との関連、既習事項を基に別の課題に取り組める資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、色名も表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・文章が文節や単語の途中で改行することのないよう、改行の位置を工夫している。 ・ウェブコンテンツへの二次元コードの位置を固定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方として、「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果から考えよう」「結論」「学びを広げよう」「新たな問題を見つける」という問題解決の流れを示している。 ・理科の見方・考え方を児童や教師の発言で示している。 ・巻頭の「自分たちの考えを伝えあい、学びあおう」で、話し合いの中で活用できる言葉を示している。 ・「見つけよう」で、児童が話し合いをしている様子を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「電気の利用」の単元で、「プログラムの利用」について掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由研究の進め方を掲載している。 ・器具の扱い方について、単元内及び巻末資料としてデジタルコンテンツを利用しながら説明している。 ・他教科との関連を示す記載がある。他教科で学習した内容を「思い出そう」で示している。 ・先生、保護者に向け、災害の写真を扱う際の指導上の配慮について記載している。
信教	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、観察の仕方や記録のまとめ方、理科室の使い方を掲載している。 ・単元の導入に「思い出そう」として、既習事項を示している。 ・単元末の「ふりかえろう」では、児童のノートでまとめの内容を掲載している。 ・コラム「やってみよう」「しらべてみよう」「しりょう」では、既習事項を生かして別の課題に取り組む内容、学んだことを深められる内容、生活との関連などを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ウェブコンテンツへの二次元コードの位置を固定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方として、「自然とふれ合おう」「問題を見つけよう」「予想をもとう」「予想の確かめ方を考えよう」「確かめよう」「結果を記録しよう」「いえること・いえないことを考えよう」「まとめよう」という過程が示されている。 ・理科の見方・考え方をはたらかせる内容をキャラクターのセリフで記載している。 ・導入や考察の場面でキャラクターが話し合っているようすを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「電気の利用」の単元で、プログラミングについて説明し、プログラムの流れを図で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品や器具の扱い方を単元内に掲載している。 ・「しらべてみよう」では、学んだことと日常生活との関わりについて掲載している。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入に「思い出そう」として、既習事項を示している。 ・単元末の「たしかめよう」「活用しよう」で、学んだ内容や用語を確認したり、学んだ内容を生かして考えたりする場面が設定されている。 ・巻末に調べ方や表現方法などの資料を掲載している。 ・コラム「理科の広場」「くらしとリンク」では、学んだことを深められる資料や生活との関連などの資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・文章が文節や単語の途中で改行することがないよう、改行の位置を工夫している。 ・内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。 ・マークを文字入りにし、意図が伝わりやすいように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学び方について、「問題をつかもう」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察しよう」「まとめ」「もっと知りたい」という過程を示している。各単元の問題解決の場面では、その過程を示している。 ・「理科の見方・考え方」について、本文中の関連がある部分に緑色でアンダーラインが引かれていたり、巻末にまとめて記載したりしている。 ・巻末で「話すとき」「聞くとき」「発表するとき」の例が示されている。 ・キャラクターが話し合い活動を行う、対話的な活動の場面が記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「発電と電気の利用」の単元において、「電気をむだなく使うふう」としてプログラミングが扱われている。 ・プログラミングシミュレーターとともに、フローチャートが紹介されている。(例) ・人感センサーと明るさセンサーを使った例 ・人感センサーと温度センサーを使った例 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科と関連した内容をマークで示し、教科名を記載している。巻末では、「算数のまど」で算数で学習したこととの関連について記載している。 ・「自由研究の進め方」を掲載している。 ・各学年の巻末に「CBT」を二次元コードで掲載している。 ・STEAMに関わる内容をマークで示している。 ・先生、保護者に向け、災害の写真を扱う際の指導上の配慮について記載している。

